

本の森 9月号



丹波篠山市立中央図書館通信 No. 204 2022年9月1日 発行

今月の特集

文豪たち

文豪とは

— 文芸作家の中でも人気・実力ともに傑出した人物を指す。明確な基準はないものの、生前・没後にわたって大きな影響をもった近代の小説家(1887~1970年代)を呼ぶことが多い —

日本文学の礎^{いしすえ}を築いた文豪と呼ばれる偉大な先人。今月の特集では『文豪』にスポットを当て、文豪と呼ばれる様々な作家の本を集めてみました。読書の秋、古くて新しい古^{いにしえ}の物語をお楽しみください。

『文豪たちの妙な話 ミステリーアンソロジー』

夏目 漱石 ほか 河出書房新社 BF ブン



本書は名立たる昭和の文豪10人によるアンソロジーです。テーマは「人間の心の不思議」にフォーカスした“妙な話”。

変な音や消えた時計、盗みや殺人をしてしまうという人間の心理・・・最初から最後まで順番に読むもよし、お気に入りの作家の作品だけを読むもよし。文豪ならではの言葉の選び方や言い回しには懐かしさと新鮮さを覚えます。

文芸作品としてではなく「ミステリー」として読まれることをお勧めします。(酒井)



マークデザイン
加藤昌男

おと
『**囀捜査官北見志穂 1**』
山田 正紀 著 徳間書店 BF ヤマ

文学の
棚から

北見志穂は警視庁科捜研の「特別被害者部」へ捜査官として配属になりました。そこは囀捜査専門の部署で、彼女は犯罪者を引き寄せてしまうという特殊な「被害者体質」を見込まれたのです。折しも女性を狙った通り魔事件が発生。チームは「なぜ被害者は犯人に選ばれてしまったのか」を推理することによって、犯人のゆがんだ姿を浮かび上がらせようとしています。



このシリーズが書かれ始めたのは1996年。男性から女性への加害が当然の作品群がヒットしていたなか、主人公の感じる被害者への共感や理不尽さへの怒りは、男性優位主義の醜さと愚かさを浮き彫りにしました。そして2021年からシリーズ再刊と新作の書き下ろしが決定。

女性への憎悪と闘った名作シリーズ、令和に堂々の復活です。(西澤)

『**目で見る日本史**』
たかし やまで
岡部敬史 文 山出高士 写真 東京書籍 210.04 才

一般書の
棚から

名所・旧跡が載った本はたくさんありますが、この本は後年に作られた記念館や銅像などではなく、「歴史的人物が見た風景を、その人が見た視点にこだわって撮影した」ガイドブックです。

例えば、『北条泰時が見た「朝夷奈切 通」』では、「いざ鎌倉」の時に駆けつけるために泰時自ら工事を監修したとされる道が、『正岡子規が見た「子規庵」からの景色』では、子規が晩年を過ごした「子規庵」の、病の床に就いた子規の目線と同じ畳の高さから見た庭が、撮影されています。

全部で34の風景が年代順に載っています。この本を片手に、あの歴史上の人物が見た風景を見に出かけませんか？ (河南)



レファレンスの
棚から

こんなレファレンス(調査依頼)がありました
「篠山十景について知りたい」

郷友431号(Z7/00/431)によると、江戸時代に丹波篠山藩の藩校「振徳堂」の儒学者、関世美が篠山城下の優れた風景を十カ所選び、漢詩を作りました。それを見た当時の藩主、青山忠高は明和9(1772)年に篠山十景として認定したといえます。

その風景とは「駒鞍山桜」(小枕)「浅路山月」(殿町)「龍蔵寺楓」(真南条上)「笛吹山鹿」(大熊)「岡谷夕照」(東岡屋)「澤田落雁」(前澤田)「深嶽暮雪」(火打岩)「延寿晚鐘」(東吹)「黒岡玉水」(黒岡)「王地祠燈」(河原町)です。(西澤)

Y onde Mite

よ ん で み て

『Y onde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します

『みつばの郵便屋さん1～7』
小野寺 史宜 著 BF オノ
2014.08 出版



こんな郵便屋さんがいたらいいな、と思える本です。ほのぼのします。

ペンネーム YOU

『ひとりの双子』
ブリット ベネット 著 933.7 ペ
2022.03 出版



人種差別のもとで引き裂かれた双子姉妹の人生に「差別」の理不尽さを思い知らされます。

ペンネーム ライター

『80歳の壁』
和田 秀樹 著 159.79 ワ
2022.03 出版



食べたいものを食べる。血圧・血糖値は下げなくていい。ガンは切らない。おむつを味方にする…。80歳からの人生「生老病死」の大きな壁を越えていくヒントを紹介した本です。

ペンネーム 周五郎ヴァン

『お金本』
左右社編集部 編 914.68 オ
2019.10 出版



お金に関する大事な事が書かれています。パラパラとめくるだけでも学びがある。お金に悩んだら見て下さい。

ペンネーム しょう

『誰のための排除アート？
不寛容と自己責任論』
五十嵐 太郎 著 518.8 イ
2022.06 出版



大いに考えさせられた本でした。

ペンネーム オオサンショウウオ

『ジョン万次郎の羅針盤』
中濱 武彦 著 289.1 ナ
2020.10 出版



日本開国の先駆けとして活躍した偉人。数奇な運命を生き抜いた人物の伝記。感動的です。

ペンネーム ジョウ



映画上映会のお知らせ

入場無料
申し込み不要

「ジュマンジ」

1995年 アメリカ 103分

- 監督 ジョー・ジョンストン
- 出演 ロビン・ウィリアムズほか
- 日時 9月 9日(金) 14:00 ~ 15:45
9月10日(土) 15:00 ~ 16:45
- 場所 中央図書館 視聴覚ホール

いじめられっ子アランは、ふとしたことから土の中に埋もれていたゲームを見つける。それはゲーム盤の上で展開される出来事が現実にも起きてしまう危険なゲーム。そうとは知らないアランは早速ゲームを始めてしまい……。

図書館カレンダー



行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 休	6	7	8	9	10 図書館の日
11	12 休	13	14	15	16	17
18	19	20 休	21	22	23	24
25	26 休	27	28	29	30 休	

【中央図書館】

- ★「書道展」
展示ホール：8/30(火)～9/13(火)
- ★「映画上映会」
視聴覚ホール：9/9(金)・10(土)
- ★「毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日」
全館：9/10(土) 終日
- ★「保健福祉部 館内特別展示」
*世界アルツハイマーデー・月間
*手話言語の国際デー・国際ろう者週間
*自殺予防週間
展示ホール前：9/1(木)～29(木)

※イベントは行わない場合があります。

願い事がかないますように



7月1日～8月7日まで図書館に設置した笹飾りには総数 746 枚の願い事が飾られました。

(中央図書館 646 枚・市民センター100 枚)

心を込めて綴られた短冊は、市内の神社に奉納しご祈禱をいただきました。(右の写真)

また、8月の『マナーアップ・愛本運動』も利用者の皆様にご理解をいただき無事に終了しました。一人でも多くの方に職員の思いが伝わることを願っています。

